

新型コロナウイルス感染症の拡大防止に向けた 市長メッセージ

全国的に新型コロナウイルスの感染拡大に歯止めがかからず、7月29日には全国の1日の感染者数が初めて1万人を超えるなど、依然として収束が見えず、危機的な状況となっています。

また、東京都など6都府県が緊急事態宣言実施区域、北海道など5道府県がまん延防止等重点措置実施区域となっており、爆発的な感染拡大への危機感がますます強まっています。

岩手県内でも、複数のクラスターの発生など連日感染者が確認されており、強い感染力が指摘されるデルタ株も確認されるなど感染が拡大している中、岩手県は「岩手警戒宣言」により、基本的な感染対策の再徹底やワクチン接種後のマスク着用、緊急事態宣言区域等との不要不急の往来自粛を求めています。

奥州市におきましては、感染が拡大しているとは言えないものの、断続的に感染者が確認されており、予断を許さない状況となっています。

これ以上の感染拡大を防ぐためには、旅行、帰省など都道府県をまたぐ移動など人の動きの活発化が予想される夏休み、お盆期間の過ごし方がとても重要であり、最大限の警戒が必要です。

自分自身や大切な人、地域や社会を守るため、感染防止策を徹底していただくように改めてお願いします。

都道府県境をまたぐ旅行・帰省等は原則中止・延期を！

感染拡大地域（緊急事態宣言実施区域及びまん延防止等重点措置実施区域）とその他の地域との往來を含め、都道府県境をまたぐ不要不急の旅行・帰省等は、ご家族やご友人等とも慎重に相談し、「行かない」「呼ばない」「延期」の選択をお願いします。

どうしても都道府県境を移動する必要がある場合には、行先では感染しない、広げない対策を徹底し、慎重に行動するようにお願いします。

「うつさない」「うつらない」行動を徹底しよう！

一人ひとりが感染防止の強い意識を持ち、全ての場において、手洗い、消毒、常時マスクの着用、三密の回避など基本的な感染防止策の徹底をお願いします。

なお、新型コロナウイルスのワクチンは、感染を100%防ぐものではありませんので、ワクチン接種後も引き続き感染防止策の徹底をお願いします。

温かく見守りましょう！

感染者や濃厚接触者、医療従事者やそのご家族などに対する差別や偏見、誹謗中傷などの行為は厳に慎み、正しい情報に基づいた思いやりのある行動をお願いします。

令和3年8月3日

奥州市長 小沢昌記